

第26回 記者懇談会実施概要

- 1 日 時 平成14年11月25日(月) 15時～
 - 2 場 所 100周年記念会館 第2会議室
 - 3 内 容 (1) 研究発表(15:00～15:40)
岡田博美工学部教授、堀井康史総合情報学部助教授、
Ten-Hwan Laiオハイオ州立大学教授(招聘研究者)
テーマ「車載コンピュータ間情報ネットワーク技術
—車載通信技術で車はどこまで賢くなる?—」[資料1](#)
 - (2) 質疑応答(15:40～16:00)
 - (3) 学内状況説明・情報交換(16:00～16:30)
 - ア 「廣瀬本」の寄託について [資料2](#)
 - イ スポーツ・フロンティア(SF)入学試験の結果について [資料3](#)
 - ウ 法科大学院棟の着工と説明会の開催について [資料4](#)
 - エ 弁理士研修プログラムの実施について [資料5](#)
 - オ 第3回FDフォーラムの開催について [資料6](#)
 - カ 就職説明懇談会の開催について [資料7](#)
 - キ 文学部学術講演会の開催について [資料8](#)
 - ク 法学研究所第28回公開講座の開催について [資料9](#)
 - ケ 人権問題研究室第32回公開講座の開催について [資料10](#)
- 4 大学側出席者
永田眞三郎学長、藤田武良副学長、大和正史学長補佐、岡田博美工学部教授、堀井康史
総合情報学部助教授、Ten-Hwan Laiオハイオ州立大学教授(招聘研究者)、中尾正司企画
室長、藤本清高広報課長
- 5 参考資料
 - (1) 関西大学FDフォーラム Vol.3
 - (2) 大学の授業研究ビデオシリーズ(第1巻～第3巻)
 - (3) 入学試験要項

以 上

車載コンピュータ間情報ネットワーク技術 —車載通信技術で車はどこまで賢くなる?—

工学部教授 岡田博美
総合情報学部助教授 堀井康史

本研究は次世代型ITSとして、車載コンピュータと無線通信を融合し、

- 1) 車両対車両通信による走行安全、
 - 2) 車両対歩行者の安全な共存、
 - 3) 移動車両のアドホックネットワーク構築、
 - 4) コンテンツ指向型車両通信、
- の実現を目標とする。

具体的には車載コンピュータに高度通信機能を付加し、近辺の他車両の車載機や歩行者・自転車の簡易情報機器と自動的に無線による情報通信を行なう。位置・速度・方向や制御など車両リアルタイム情報を交信し、瞬時に車両間相互や車両対歩行者間の位置や動きを認識・予測する。車両の衝突・接触や歩行者の飛び出しなどの危険性を事前に検出し、直ちに車両運転者に警告を発し、事故を回避させる。さらに偶然近辺を走行する未知で不特定な車両群間でアドホックな通信網を構築し、進行方向のホット(数10秒前)な交通情報から、災害や緊急情報、さらにはお得な便利情報まで、幅広い情報をアドレスやID番号ではなく、情報コンテンツ自体により識別し、車両間で交換するシステムの開発も目指す。

本研究の現状は、本年9月末に移動通信用車両2台の納入を受け、搭載コンピュータや通信機器の調整を行ない、第1課題(車両間衝突回避システム)について関西大学高槻グラウンドで車両走行実験を開始している。今後5年をかけた上記4課題の実現を目指して研究を進めていく。



おかだ ひろみ
岡田 博美

教授

神戸市出身。1970年大阪大学工学部通信工学科卒業、75年同大学院博士課程修了、工学博士。神戸大学、大阪大学助教授などを経て、96年本学教授に着任。

専門は情報ネットワークの構築技術である。特に超高速デジタル通信、光バースト交換網、マルチメディア網、無線データ通信網、分散処理システムならびにITSをめざした車載コンピュータ間通信方式などが主な研究対象である。米国オハイオ州立大学などと国際共同研究を進めている。著書に「情報ネットワーク」「情報通信工学」「コンピュータの基礎知識」、訳書に「マルチメディア通信と広帯域ネットワーク」などがある。

趣味は一応テニス・ゴルフで、道具が揃っているという程度。現在最も楽しみとしているものは、チェーンソーや斧を担いで庭(雑木山)で時を過ごす「山いじり」である。



ほりい やすし
堀井 康史

助教授

滋賀県出身。1989年大阪大学工学部通信工学科を卒業後、同大学大学院へ進学し、94年博士後期課程を修了。同年、関西大学総合情報学部に着任。大学院では、情報伝送媒体である光波とマイクロ波の技術の融合を目指して「半導体プラズマによるマイクロ波の光制御法に関する研究」に従事。これまでに新しい光制御マイクロ波デバイスを数多く提案し、論文誌や研究会への投稿も多々ある。また、コンピュータ関連の知識も豊富で、大学院在学中は研究室のワークステーションやパーソナルコンピュータの管理者として活躍。UNIXのファイル管理ツール「fdu」の開発にも貢献する。趣味は、旅、料理、スキー、アマチュア無線など多岐にわたっており、特に北海道には造詣が深く、学生時代にはバックパッカーとして7回の訪道経験をもつ強者である。休日は究極のアウトドアに従事。畑で鋤をふるう日々を送っている。